

Jリーグの試合をリアルタイムで観察しながら
勝敗予想をBETできるアプリケーション（仮題）

企画書

No.42 堀 正斉

アプリ概要

1.どのようなユーザーが使うのか

- ・ Jリーグの存在は知っているけど、チーム名まではそこまで知らないユーザー。
 - ・ できれば、スタジアムに行って観戦してみたいけど、なかなか機会がないな～、と思っているユーザー
- 【補足】結構Jリーグが好きで、totoとかも買っているユーザーでも楽しめるようにしておく。

2.何を達成したいのか

- ・ サッカーをそこまで知らない人にJリーグに興味を持ってもらう。

3.どのような機能があるのか（後述）

4.類似サービスとは何が違うのか

- ・ totoは3試合以上でないとBETすることはできないが、これは1試合から可能。
- ・ 純粋に過去のデータから勝率を算出してるサービスがJリーグのデータ以外なく、Jリーグのデータはビジュアライズされていない。

5.リリース日はいつか

- ・ α 版:4月15日頃、 β 版:5月14日頃予定。本リリース:6月10日頃を予定。

6.収益構造はどのようなものか

- ・ 課金制度orAD（ADは無料版のみの運用時に検討？）

7.アプリ名

- ・ まだ決めてません

コンセプト・ターゲット

コンセプト

- ・サッカーに今まであまり触れてこなかった人でも楽しめるアプリケーションを通じて、Jリーグや日本のサッカーに興味を持ってもらう。そのきっかけ作りを行う。

ターゲット

- ①リーグの存在は知っているけど、チーム名まではそこまで知らないユーザー。
- ②できれば、スタジアムに行って観戦してみたいけど、なかなか機会がないな～、と思っているユーザー

アプリを作ることになった背景

- ・サッカーが好きで、サッカーに触れる人が増えてほしいと思っている。
- ・現状、サッカーを観に行くのは少しハードルが高い、と思っている人に対してのアプローチがまだ少ない。入り口の一つとして、試合を見に行く前段階でサッカーに触れる方法がないかと思っている。
- ・サッカーのデータを提供しているサイトやアプリはあるが、玄人である自分から見ても「これなんのデータ？」と思ってしまうものが多くて、素人ユーザーに優しくない。
その見せ方を楽しく見せてあげて、サッカーの試合に興味を見てもらうようにしたいと思っている。

アプリを作る目的

- ・あわよくば転職作戦を実行するため。

（なので、できるだけ頑張ってjs、node.jsを触っておく。）

※最終的な一つのゴールとして、データスタジアムという会社のようなところで、スポーツを解析するような仕事をしてみたい。

この会社が主に使用している言語は現状PHPが中心ですが。。。

- ・今後、スポーツとITの組み合わせはどんどん増えていくと思うので、その分野で一度企画を立ててみる経験をしたかったから。

11月頃にある、Jリーグトラッキングデータコンテストにも応募予定なので、それにつながるものが作りたい、というのもこのアプリを作ろうと思ったきっかけです。

アプリでできること

- 1 過去のJリーグのデータから、今節の試合の勝敗予想が出てくる
- 2 時間帯ごとに勝敗予想が変動する（時間帯別得失点のデータから算出）
- 3 試合開始後に参加者はどちらが勝つのか、をBETできるようにする。
- 4 早めにBETした人のリターンは大きく、
ギリギリにBETした人のリターンは小さくなる。
- 5 各試合にチャットルームがあり、実際にしている人とも
コミュニケーションが取れるようにしておく。

※BETのためには仮想通貨のようなものが必要になるかもしれませんが、それはおいおい作っていく予定です。

アプリ使用画面（イメージ図：PC）



勝率表示バー

BET用ボタン

①勝率表示バーは、その日の天候、スタジアム、対戦成績、直近5試合の勝ち点などをもとに算出

※勝率表示バーはBETされると影響を受け、リアルタイムに更新される。

②BET用ボタンでどの結果になるか、賭けることができる。

※BETは試合開始～85分まで。BETして返ってきたPOINTは保持することができる。

アプリ使用画面（イメージ図：スマホ）



勝率表示バー

BET用ボタン

※機能はPC版と全く同じ

マネタイズ（まだ考え中です）

Free

¥0 / 月

Premium

¥100 / 月

基本的には無料で使える仕組み。プレミアム版は広告なし。

アプリの今後の展開（もしJリーグと組めたなら）



チケット⇔アプリ内仮想通貨

チケット購入する権利を得ることで、
スタジアムに足を運ぶ機会が作れる



地域通貨⇔アプリ内仮想通貨

地域密着というJリーグの理念の実現
地域経済の発展



Jリーグのゲームを動画観戦

実際に試合を見ながらBETできるため、
ライブ感がより伝わる。

使用言語、技術（予定含む）

- HTML
- CSS
- javascript (jQuery)
- PHP
- MySQL
- milkcocoa
- node.js
- socket.io

赤文字部分は、リアルタイム通信で利用する予定ですが、milkcocoaを少し触ったことがある程度なので、判断が付いてません…。

全体設計

ユーザー



socket.io

アプリケーション



jQuery

node.js

データベース



mongoDB

以上です。
ありがとうございました。